

葛城に化粧品工場

アンズコーポ 生産能力3倍に

ロート製薬系のアンズコーポレーション(大阪市、山田昌良社長)は来年7月、奈良県葛城市に基礎化粧品を生産する新工場を稼働する。投資額は約65億円。会社全体の生産能力は従来比約3倍になる。既存の富田林工場(大阪府富田林市)は高付加価値品の生産に特化、大量生産に向けた製品を新工場にシフトすることで、受注に合わせた柔軟な生産体制を整備する。

新工場の敷地面積は約1万3千平方メートルで、建物は鉄骨造り6階建て。既に着工しており、化粧水や美容液、クリームなど主に基礎化粧品を生産する。また、製造区分ご

とにゾーン分けして空調管理を徹底する。同社は基礎化粧品などのOEM(相手先ブランドによる生産)供給が全売上高の約7割を占める。既存工場はほぼフル生産になっており、新工場の稼働で大量の注文を即時に対応できるようにしたい考え。

し、生産能力は年6千万個。最新鋭の生産設備を導入することで、大半の作業を自動化し低コストで大量生産できるようにする。また、製造区分ご